



# 第76期中間 株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



O R G A N O

**オルガノ株式会社**

証券コード：6368

### 経営理念

オルガノは  
水で培った先端技術を駆使して  
未来をつくる産業と  
社会基盤の発展に貢献する  
パートナー企業としてあり続けます

### 長期経営ビジョン

- 付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に  
事業領域と展開地域を拡大し、  
産業と社会の価値創造と課題解決  
を推進する製品・サービスを  
絶えず提供します。
- 昨日までのやり方を、  
明日に向けて、  
今日変える人をつくり、  
一人ひとりが働きがいと  
活力に満ちた企業を構築します。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第76期事業年度上期(2020年4月1日～2020年9月30日)の概況をご報告申し上げます。

当上期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い自動車産業や外食産業分野の売上は減少しましたが、台湾を中心に電子産業分野が堅調に推移し、厳しい環境下の中、一定の成果を収めることができました。これは、以前よりテレワークに必要な環境の整備を進めていたことやWEB会議システム等を用いて迅速な経営の意思決定を行うなど新型コロナウイルス感染症拡大の防止と事業活動の両立に努めた効果が表れた結果であったと考えております。

当期の中間配当金につきましては、好調な業績を反映した前期の年間配当金(104円/株、中間配当金47円/株、期末配当金57円/株)を維持する観点から、1株当たり52円(期末配当金予想52円/株)といたしました。

足元では、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の深刻化が懸念される中、先行きの不透明感は強くなっております。しかしながら、中長期的には半導体分野の拡大が続くことが予想されており、ICT/AI技術を活用したソリューションサービスの拡大や高度な分離・精製技術の開発を通じた新規事業創出などについても、当社が目指すべき方向性は変わらないものと考えております。

当社グループは引き続き「電子産業分野の拡大」「ソリューションサービスの強化」「新規事業の創出」を中期経営計画の重点施策として進め、さらなる企業価値・株主価値の創造を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月



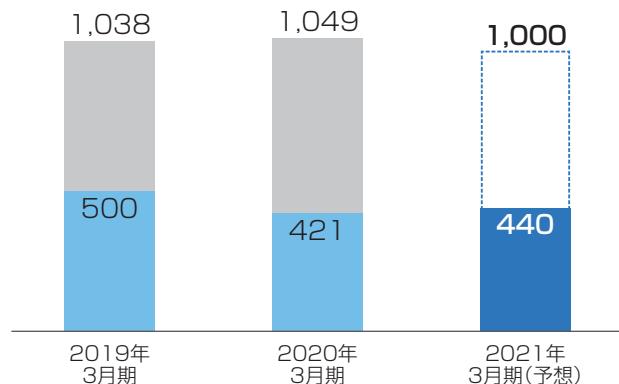
代表取締役社長 社長執行役員

内倉昌樹

## 受注高

**440** 億円 **4.5%**増(前年同期比)

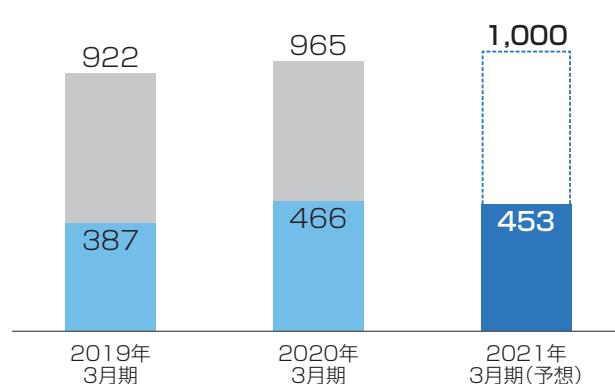
■ 上期 ■ 通期 (単位: 億円)



## 売上高

**453** 億円 **2.9%**減(前年同期比)

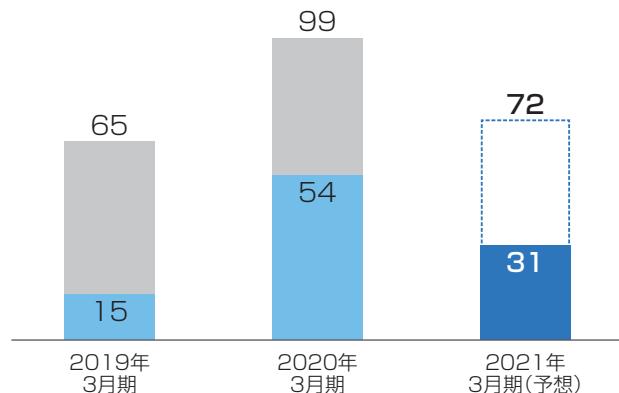
■ 上期 ■ 通期 (単位: 億円)



## 営業利益

**31** 億円 **41.5%**減(前年同期比)

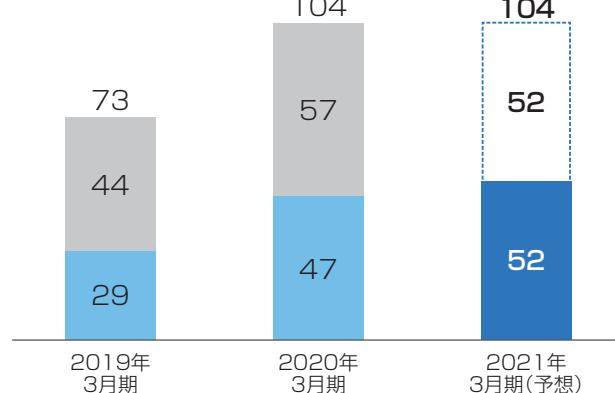
■ 上期 ■ 通期 (単位: 億円)



## 1株当たり配当金

**52** 円 **+5** 円(前年同期は47円)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 円)





# 2021年3月期は、過去最高となる売上高1,000億円の達成を目指す

— コロナ禍で事業活動が大きく制限される中、社員の工夫・努力により好業績を維持 —

## ■受注高

国内は減速も、好調な台湾が貢献し計画達成を見込んでおります

## ■売上高

国内は減少も、台湾を中心に海外での伸長を想定しております

## ■営業利益

今後コロナ禍の影響が懸念されるも、期初計画通りの利益確保を見込んでおります

(単位：億円)

	2019年度	2020年度		2022年度
	通期	上期	通期見通し	通期計画
受注高	1,049	440	1,000	1,050以上
売上高	965	453	1,000	1,050以上
営業利益	99	31	72	90以上
営業利益率	10.3%	7.0%	7.2%	8.6%
ROE	12.4%	—	7.5%	8.2%

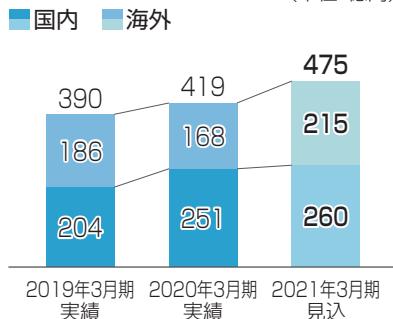
## 重点分野における売上推移

2022年度を最終年度とする現中計では「電子産業分野の拡大」「ソリューションサービスの強化」「新規事業の創出」を重点3分野と定め、注力しております。

国内外で商談や出張などが制限される状況下にあっても、工夫を凝らして各種施策を実行しており、電子産業分野とソリューション事業は順調に伸長しております。

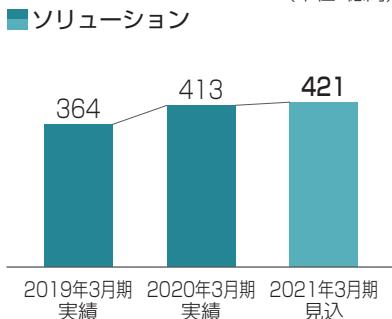
### ①電子産業分野向け売上高

(単位：億円)



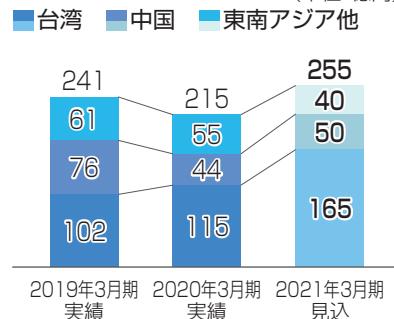
### ②ソリューション売上高

(単位：億円)

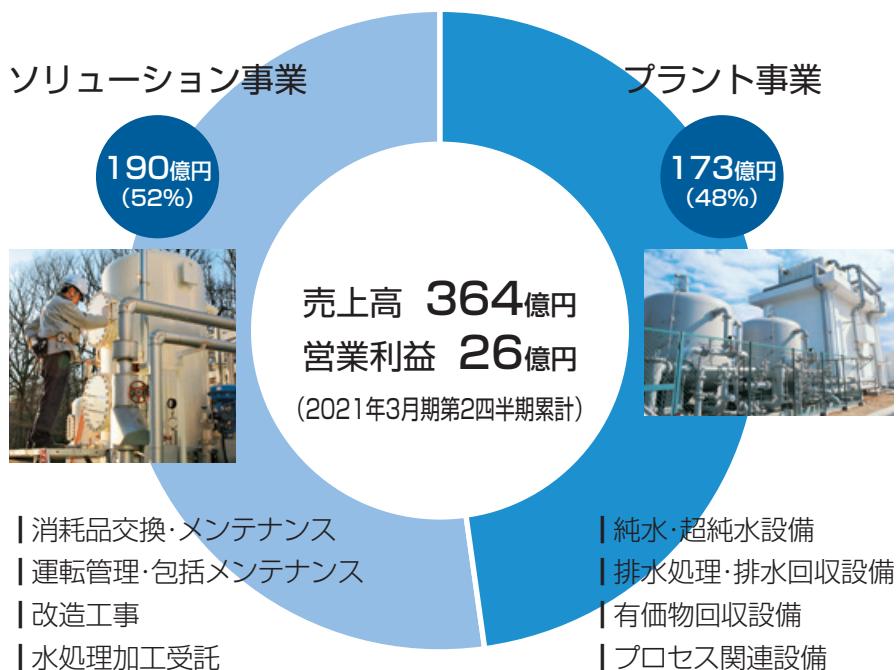


### ③海外売上高

(単位：億円)



## 水処理エンジニアリング事業



売上高は、電子産業分野において台湾で好調に推移したものの、一般産業分野はコロナ禍でスローダウン、電力・上下水分野も大型案件がなく売上が減少した結果、僅かながら減収となりました。利益面は、比較的採算性の良い案件の売上が集中した前年同期に比べ、電子産業分野を中心に利益率が低下した結果、減益となりました。

### 電子産業分野

売上高 **222億円**



- ・半導体
- ・FPD
- ・電子部品

### 電力・上下水分野

売上高 **34億円**



- ・発電所
- ・浄水場
- ・下水処理場

### 一般産業分野

売上高 **106億円**



- ・医薬品／化粧品
- ・食品／飲料
- ・機械／素材／化学

## 機能商品事業

### 食品加工材

24億円  
(28%)

- 食品添加剤
- 食品素材



### 標準型水処理機器

28億円  
(32%)

- 純水製造装置
- 超純水製造装置
- フィルター
- 機能水製造装置



売上高 **89億円**  
営業利益 **5億円**  
(2021年3月期第2四半期累計)

### 水処理薬品

35億円  
(40%)

- RO水・排水・冷却水・ボイラ水処理、洗浄薬品

売上高は、電子産業向けの水処理薬品や除菌・消臭用微酸性電解水オルプラスの販売が好調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響を受けた自動車・外食産業・医療機関向けの販売が減少したため、減収となりました。利益面は、売上高の減少を受け、減益となりました。

#### 標準型機器・フィルター



- ・研究所／医療機関
- ・各種工場
- ・飲食店／コンビニ

#### 水処理薬品



- ・各種工場
- ・ビル
- ・商業施設

#### 食品加工材



- ・食品加工
- ・飲料製造
- ・介護食／健康食品

## ■ オルガノの新型コロナウイルス感染対策として

世界を席卷している新型コロナウイルス。当社グループでは新型コロナウイルス感染症拡大防止と事業活動の両立を図るための様々な取組みを行っています。

### ● 新しい伝え方の導入

4月の緊急事態宣言発令により国内外の移動が大きく制限される中、早期に本社・工場・現場事務所での分散勤務を開始させました。また、WEB会議やチャットの採用、業務のワークフロー化により遠隔での協力作業や意思決定を実現することで、当社業績へのインパクトを最小限に留めることができました。

(Before)

重要会議の資料：事前に紙資料を配布も、送達に要す時間や出張などで十分に事前確認ができない課題



(After)

アプリ上で安全・迅速に送達、資料提供可能に。資料差替も簡便に行え、資料の検討時間も増加



## ● 決算説明会の動画配信

当社の新型コロナウイルス感染対策の一つとして、動画を利用した決算説明会を5月に開催しました。

初の試みではありましたが、これまで決算説明会は投資家の方のみを対象としており、今回動画配信で説明会を行うことで株主の皆様にもご覧いただくことが可能となりました。当上期の決算説明会の動画も掲載しております。当社コーポレートサイトのIR情報のページよりご覧いただけます。ぜひご覧ください。

(<https://www.organo.co.jp/ir/briefing/>)



## ● 除菌用微酸性電解水「オルプラス」

次亜塩素酸水のひとつである微酸性電解水オルプラス※1は、食品製造工場やオフィス等で幅広く利用され、食品添加物としての規格を満たした除菌剤として、安全性の高い空間づくりに寄与しています。

一般に広く利用されている次亜塩素酸ナトリウムは、塩素臭や手荒れが生じやすい特性がありますが、オルプラスは低刺激性・低腐食性で水のように使用することができ、細菌やカビの除菌、ウイルスの不活化※2、消臭等に効果を発揮します。

当社は新型コロナウイルス感染対策による需要増に対応して増産体制を整え、各種工場、オフィスでの除菌用途に応えています。

※1 オルプラスはオルガノフードテック(株)で製造しています。

※2 NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)によって有効塩素濃度35ppm以上の次亜塩素酸水による新型コロナウイルス消毒有効性が確認されています。



オルプラスはオルガノ(株)の登録商標です。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	76,078	<b>76,799</b>
固定資産	25,369	<b>25,097</b>
有形固定資産	19,296	<b>19,049</b>
無形固定資産	1,113	<b>1,116</b>
投資その他の資産	4,959	<b>4,931</b>
資産合計	101,448	<b>101,896</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	32,240	<b>31,647</b>
固定負債	8,349	<b>7,869</b>
負債合計	40,590	<b>39,516</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	61,277	<b>62,808</b>
資本金	8,225	<b>8,225</b>
資本剰余金	7,508	<b>7,508</b>
利益剰余金	46,081	<b>47,506</b>
自己株式	△ 537	△ <b>432</b>
その他の包括利益累計額	△ 560	△ <b>564</b>
非支配株主持分	140	<b>136</b>
純資産合計	60,857	<b>62,379</b>
負債純資産合計	101,448	<b>101,896</b>

### ● 資産の部

現金及び預金、リース投資資産が減少したものの、売上債権が増加したことなどにより448百万円増加しました。

### ● 負債の部

短期借入金は増加したものの、その他の流動負債及び未払法人税等の減少などにより1,073百万円減少しました。

### ● 純資産の部

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより1,521百万円増加しました。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

6,054百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上によるものであり、主な支出は売上債権及びたな卸資産の増加、法人税等の支払によるものです。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

647百万円の資金流出となりました。主な支出は有形固定資産の取得によるものです。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

1,184百万円の資金増加となりました。主な支出は長期借入金の返済及び配当金の支払によるものであり、主な資金の増加は短期借入金の増加によるものです。

当第2四半期末の現金及び現金同等物は前期末に比べ5,580百万円減少し、8,192百万円になりました。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	46,675	<b>45,322</b>
売上原価	32,883	<b>33,963</b>
売上総利益	13,792	<b>11,359</b>
販売費及び一般管理費	8,348	<b>8,176</b>
営業利益	5,444	<b>3,182</b>
営業外収益	187	<b>163</b>
営業外費用	314	<b>68</b>
経常利益	5,317	<b>3,276</b>
特別利益	4	<b>14</b>
特別損失	5	<b>2</b>
税金等調整前四半期純利益	5,316	<b>3,288</b>
法人税等	1,675	<b>1,207</b>
四半期純利益	3,640	<b>2,081</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	<b>0</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,640	<b>2,080</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 916	△ <b>6,054</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 612	△ <b>647</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,217	<b>1,184</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 138	△ <b>63</b>
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,885	△ <b>5,580</b>
現金及び現金同等物の期首残高	11,276	<b>13,772</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,391	<b>8,192</b>

## 会社概要

商号	オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION)
本社	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
創業	1946年5月1日
資本金	8,225,499,312円
従業員数	連結2,296名 (単体1,078名)
事業内容	当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

## 主要な事業所

開発センター	相模原
工場	つくば、いわき
支店	北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州、台湾

## 主要なグループ会社

連結対象子会社	
国内	海外
オルガノプラントサービス(株)	Organo (Asia) Sdn.Bhd.
オルガノフードテック(株)	奧加諾(蘇州)水処理有限公司
オルガノエコテックノ(株)	奧璐佳璠科技股份有限公司
オルガノアクティ(株)	Organo (Thailand) Co.,Ltd. PT Lautan Organo Water
その他グループ会社	
国内	海外
(株)ホステック	Organo (Vietnam) Co.,Ltd.
東北電機鉄工(株)	Organo (Singapore) Pte Ltd Murugappa Organo Water Solutions Private Limited

## 取締役・監査役

代表取締役社長	内 倉 昌 樹
取締役	堀 比 斗 志
取締役	明 賀 春 樹
取締役	中 山 泰 利
取締役	須 田 信 良
取締役	山 田 正 幸
社外取締役	永 井 素 夫
社外取締役	照 井 恵 光
社外取締役	平 井 憲 次
常勤監査役	豊 田 正 彦
社外監査役	和 田 正 夫
社外監査役	樋 口 達

## 執行役員

社長執行役員	※ 内 倉 昌 樹
常務執行役員	※ 堀 比 斗 志
常務執行役員	※ 明 賀 春 樹
常務執行役員	※ 中 山 泰 利
常務執行役員	※ 須 田 信 良
常務執行役員	福 田 和 久
常務執行役員	浅 野 伸
常務執行役員	富 沢 真
執行役員	大 賀 克 巳
執行役員	國 枝 達 也
執行役員	島 田 健
執行役員	本 多 哲 之
執行役員	秋 元 英 良
執行役員	久 木 崎 誠
執行役員	小 池 省 次 郎

※は取締役兼務者であります。

## 株式の状況(2020年9月30日現在)

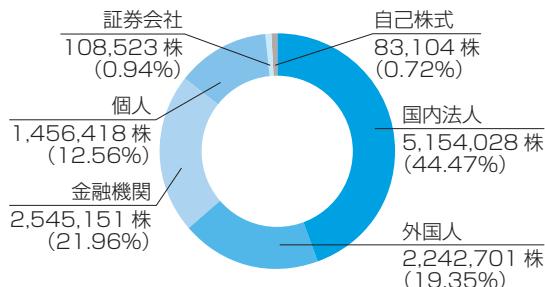
発行可能株式総数	25,392,000 株
発行済株式総数	11,589,925 株
株主総数	4,599 名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	4,875	42.37
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	740	6.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	700	6.09
株式会社みずほ銀行	200	1.74
みずほ信託銀行株式会社	155	1.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	149	1.30
ビービーエイチ サ アドバイザーズ インナーサークル ファンド ツークベルニク グローバル キャップ ファンド	139	1.21
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティービービー	128	1.12
ジェービー モルガン チェース バンク 385781	119	1.03
KBC BANK NV - UCITS CLIENTS NON TREATY	105	0.92

※持株比率は自己株式(83,104株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

公告掲載方法 電子公告  
公告掲載URL <https://www.organo.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区泉二丁目8番4号  
電話照会先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

### 株式に関する諸手続のお申し出先について

- 住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。
- 証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお取り扱いいたします。



**オルガノ株式会社**

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営統括本部 経営企画部 電話 03-5635-5111  
当社ウェブサイト <https://www.organo.co.jp/>

